

校長室だより No.7 7月11日(木)

### たかが挨拶、されど挨拶

昨日、地域の方からお電話をいただきました。曰く「朝、情報科学高校の自転車通学の生徒さんが道を横断する際に、丁寧に頭を下げてお辞儀をしてくれる。その姿がさすがしく、私だけではなく、お辞儀をされたかたは皆、気持ちの良い気分が一日が始められると思う。機会があったら生徒に話して褒めてやってください。」という内容でした。大変嬉しいお褒めの言葉でした。

本校に着任して感激したのは、ほとんどの生徒が挨拶をする際に、立ち止まり、こちらを向いて丁寧な挨拶をしてくれることです。本校は商業の専門高校ということもあり、ビジネスマナー教育を徹底して行っています。その象徴が月曜日の朝に全校朝礼の形式で行われる「ウイスタ(ウィークスタート)」です。

全員一斉に声とタイミングをそろえた「お願いします(礼)」で始まり、商業部をはじめとした様々な教員からの話が毎週あります。(ちょうど今週の話の内容が「挨拶の大切さ」でした。)そして最後はこれも全員声をそろえた「ありがとうございました(礼)」で終わります。ウイスタは一週間の始まりを全員で気持ちを引き締めて過ごしていくことを目的に行われていますが、「お願いします」「ありがとうございました」の挨拶は授業の際にも毎時間行っています。

しかし、形だけでは人の心には届きません。その生徒はお辞儀をしながら「ありがとうございました」と心の中でも感謝の気持ちを表していたからこそ、その気持ちが伝わったのだと思います。たかが挨拶ではあるけれど、心を込めた挨拶やお辞儀が人の心を動かすことがあるのだということ。しっかりと生徒に伝えたいと思います。ありがとうございました。